

令和3年度第5回理事会議事録

1. 日 時：令和4年3月31日（木）18:00～19:00
2. 出席者：齋藤浩治、奥沢悦子、木村正彦、野坂知加、吉田泰憲、逆井久美子、吉岡拓朗、川口裕美、高松みどり、細川和子、番場隆彦、本田昌樹、米沼順子、河村義雄、吉岡治彦、三上英子、太田孝雄
3. 欠席者：石山雅大、小山内誠、神山哲哉

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に高松理事が指名され、審議が行われた。審議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、オンラインで行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告

石山学術部長に代わり齋藤会長より精度管理と研修会について以下の報告があった。今年度の研修会、精度管理講習会は終了。特に研修会は各支部も含めWEBを活用し、参加人数も大幅に増えている印象。

精度管理に関しては入力ミスが多いため、各施設で十分に注意して欲しい。

番場理事より6月開催の学会の進捗状況について報告があった。教育講演・特別講演の講師が決まっていないので各部門長も含め相談することとした。

齋藤会長より演題の登録状況が現時点で0題のため、再度会員に一斉メールをする。各支部でも演題登録を働きかけて欲しい。

2. 公益部経過報告

奥沢公益部長より高校心電図健診について報告があった。

抗原キットは3日に1回実施する。マスク・フェイスシールド・ディスプレイ白衣を各支部に配布し運用していく。

3. 渉外部経過報告

木村渉外部長より「災害対策支援規定」について以下の報告があった。

日臨技の災害対策マニュアルを基に草案を作成中。各支部長と協議し、6月を目安に完成を目指したい。マニュアルの中に災害対策本部を2ヶ所設定しなくてはならないが具体的にどこがいいかと提案があった。DMAT や災害発生時の動きやすさなど考慮すべき事項が多数あるため、今後検討していくこととなった。

4. 事務局経過報告

野坂事務局長より以下の報告があった。

支部研修会も含め研修会の参加登録を4月15日までに完了させること。青臨技の会誌を各支部に郵送しました。各施設へ配布して下さい。

5. 齋藤会長より報告

日臨技理事会報告

令和4年度日臨技事業として、

- ① 次世代人材育成
- ② 第5次マスタープラン作成
- ③ 倫理綱領の見直しの検討
- ④ 施設認証 4月から開始

が挙がっていた。

無料職業紹介廃止に伴い、日臨技HPから各都道府県HPへリンクを貼ることとなった。

日臨技会員数は6.9万人と会員数が徐々に増えていて、7万人に達する見込みである。

【議題】

1. 事業計画案、予算案

齋藤会長より事業計画案、吉岡（拓）理事より予算案が資料に基づき説明があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2. 功労賞・奨励賞

功労賞候補者

- 堰合 淳子 （八戸市総合健診センター）
- 河村 義雄 （青森労災病院）
- 吉岡 治彦 （弘前大学大学院保健学研究科）
- 竹洞 ヒロ子 （八戸市医師会臨床検査センター）
- 濱谷 修 （むつ総合病院）
- 番場 隆彦 （鱒ヶ沢病院）

奨励賞候補者

- 阿部 紀恵 （八戸赤十字病院）
- 前山 宏太 （十和田市立中央病院）

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

【その他】

1. 齋藤会長より青臨技理事、各支部理事・学術が交代時期になるので人選を行って欲しい。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長 印

幹事 印
印